

企画「公開シンポジウム『脳とこころの不思議に迫る』における 高校生インタビュー動画制作」実施高校募集について

自然科学研究機構 生理学研究所
AMED 戦略的国際脳科学研究推進プログラム（国際脳）事務局

脳科学研究は、ライフステージに沿った脳の機能変化や老化の制御及び発達障害、精神・神経疾患などのメカニズム解明と予防・治療法の開発を可能にするとともに、人工知能（AI）等の IT、ロボット技術、身体機能の回復・補完を可能とする技術の開発につながり、かつ社会変容に伴うこころの問題への対処にも貢献することから、国民生活の質の向上に最も貢献できる研究分野の一つです。

令和3年より文部科学省事業「脳とこころの研究推進プログラム」が動き出し、脳機能や疾患メカニズムの解明のための研究開発の加速が期待されています。同プログラムの下で「革新的技術による脳機能ネットワーク全容解明プロジェクト（革新脳）」「戦略的国際脳科学研究推進プログラム（国際脳）」、「精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト」および「領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト」を実施しています。

これらプロジェクトは、平成27年に発足した国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED: Japan Agency for Medical Research and Development）により、「成果を一刻も早く実用化し、患者さんやご家族の元にお届けすること」を目標に掲げ、運営されています。

今回、「脳とこころの研究推進プログラム」の取組を中心に、日本の最先端脳科学研究をテーマとした公開シンポジウムを来年2月に実施いたします。今回のシンポジウムでは、高校生のみなさんが主体となって参加していただける企画を準備しております。研究の第一線で活躍されている登壇者にインタビューを行っていただき、その様子を動画コンテンツとして制作します。シンポジウム当日には、高校生のみなさんがインタビュー時の感想と共に動画を発表するイベントも開催予定です。昨年来のコロナ禍でもオンラインで完結できる体験型プログラムとして全国の高校からご応募いただけます。ぜひ、参加をご検討ください。

この体験を通して高校生たちに次のような教育的効果を想定しています。

- 脳とこころの不思議や、関連する先進的科学に興味を持つきっかけとなる
- 第一線の研究者から直接研究の話聞く貴重な経験となる
- 大学進学、研究者を目指すこと、学びの継続へのモチベーションとなる

- インタビュー取材の学びとなる

参加していただく高校の条件は次の通りです。

- 科学に興味がある高校生
- グループオンラインの環境がある
- 顔写真およびお名前をウェブサイトに掲載することに同意いただけること

応募方法

以下の応募フォームからお申し込みください。

締め切り: 2021年11月9日まで

<https://ws.formzu.net/dist/S34488172/>



募集定員

7組

※希望者多数の場合は、希望する取材対象者を考慮して調整の上、選考とさせていただきます。

公開シンポジウムの詳細（予定）

日時：2022年2月6日（日）

形式：オンライン開催（配信用ウェブサイトにて視聴）

対象：一般の方

参加費：無料

参加登録：必須（特設するイベントウェブサイトより要事前登録）

共催：自然科学研究機構 生理学研究所、理化学研究所 脳科学研究センター

協賛：日本医療研究開発機構 AMED

内容：高校生によるプレイベント、研究者による講演と質疑応答

連絡・お問い合わせ先

株式会社スペースタイム 代表 中村景子

spacetime@stxst.com

011-716-1357

[\(https://www.stxst.com/](https://www.stxst.com/) サイエンスコミュニケーションの会社です)

公開シンポジウム登壇者リスト

登壇者	所 属	トークテーマ
大隅典子 先生 http://www.dev-neurobio.med.tohoku.ac.jp/index.html	東北大学 大学院医学系研究科	脳とこころの 不思議に迫る
宮脇敦史 先生 https://cbs.riken.jp/jp/faculty/a.miyawaki/index.html	理化学研究所 脳神経科学研究センター	脳機能解明に向けた 革新的技術開発
合原一幸 先生 http://www.sat.t.u-tokyo.ac.jp/aihara/index.html	東京大学	人工知能と脳科学
永井拓 先生 https://researchmap.jp/read0201709	藤田医科大学 精神・神経病態解明センター	マウスの行動実験による 依存症研究
岡野栄之 先生 https://cbs.riken.jp/jp/faculty/bm.mna/ http://www.okano-lab.com/	理化学研究所脳神経科学研究センター ／慶應義塾大学医学部	小型サルをモデルとした 脳科学研究
林（高木） 朗子 先生 https://cbs.riken.jp/jp/faculty/a.hayashi/index.html	理化学研究所 脳神経科学研究センター	臨床的視点に基づいた 基礎的研究
三村将 先生 http://psy.keiomed.jp/	慶應義塾大学医学部	脳画像から知るうつ病

高校生のみなさんに実施してもらいたいこと

1. 登壇者の中からインタビューを希望する人を選ぶ。
2. 想定質問を考える。（生理学研究所より委託されたメンターがサポートします）
3. オンライン会議システムを使用し、約1時間のインタビューを実施。
（約5分の動画編集はスペースタイムで実施します）
4. プレイメントにて動画の紹介とインタビューした際の感想を発表。
5. シンポジウム本番で研究者の紹介を担当する。

スケジュール

下記スケジュールはピンクのところは高校の行事や、取材対象者となる研究者によって、柔軟に対応いたしますので、目安としてご参照ください。

日程	AMED	スペースタイム	高校生
11月初旬		参加高校の募集	希望研究者を選択して応募
11月中旬		参加者の選定と公表	
11月下旬	取材スケジュール調整	取材スケジュール調整	取材スケジュール調整
12月		想定質問の検討	想定質問の検討
12月	研究者インタビュー	研究者インタビュー	研究者インタビュー
1月	イベント当日打ち合わせ	動画の編集 イベント当日打ち合わせ	イベント当日打ち合わせ
2月6日	イベント当日	イベント当日	イベント当日